

# SB FIX



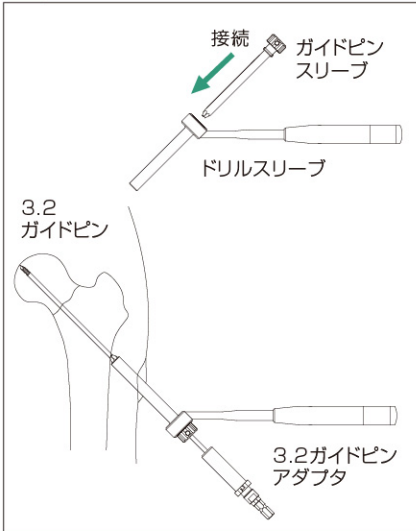
SBフィックスは、大腿骨頸部骨折等におけるチタン合金製の圧迫調整固定用内副子であり、アウターピンとインナーピンの二重構造により、インナーピンを突出させて骨折部を固定します。

[適応例] 大腿骨頸部骨折、大腿骨頭すべり症

## インプラント

## ① 遠位ガイドピン

ガイドピンスリーブ

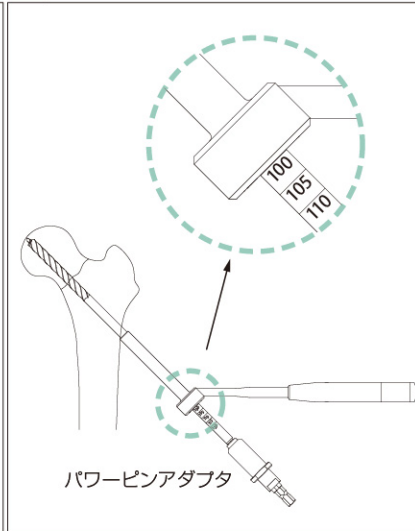


骨折部の修復後、刺入点※より近位に20～30mm程縦切し、ガイドピンスリーブを介して3.2ガイドピンを骨頭軟骨下骨直下まで刺入します。

※遠位のSBフィックスが正面像でカルカー上、軸射像で頸部中央に導入されるよう刺入位置を決定します。

## ② 遠位ドリリング

6.7中空ドリル



ドリルスリーブを介して、中空ドリルにて骨頭軟骨下までドリリングし、目盛りを読み取ります。(※1)

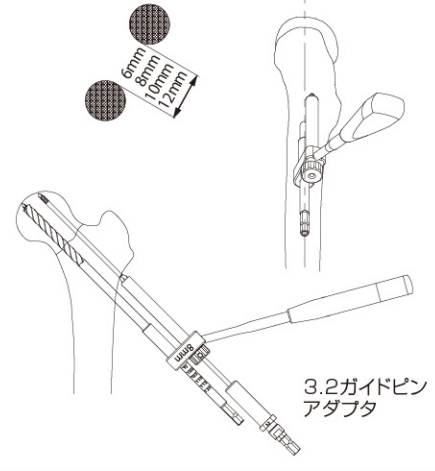
ドリルスリーブ先端が、骨面に接触した状態で計測して下さい。

ガイドピンが骨頭を貫通しないよう、イメージ下で確認しながらドリリングします。

## ③ 近位ガイドピン

パラレルガイド

間隔が6mm、8mm、10mm、12mmを選択できます



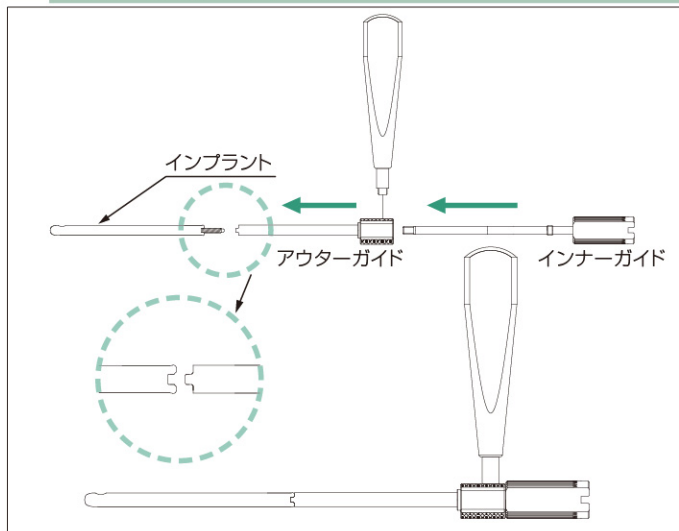
パラレルガイドにガイドピンスリーブを組み付け、遠位中空ドリルをガイドに近位ガイドピンを刺入します。

近位のSBフィックスが軸斜像で頸部後方の皮質に支えられるよう刺入します。

3.2ガイドピンアダプタを必ず使用して下さい。遠位ドリル後端との干渉を防止します。

## ⑤ アウター/インナーガイド接続

アウターガイド/インナーガイド

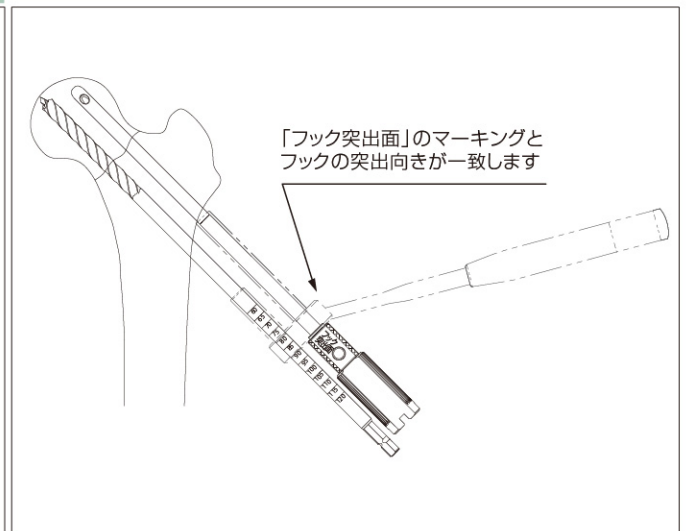


近位ドリリング時に読み取った長さのインプラントを選択します。アウターガイド先端とインプラント後端を組み付け、インナーガイドにて確実に固定します。

アウターガイドとインナーガイドには脱落防止機能があります。

アウター開窓部より、フックの姿勢が正しく配置されていることを確認して下さい。

## ⑥ 近位インプラント挿入



フックの突出向きを前面へ向け、インプラントを挿入します。外側皮質から後端が5mm程突出する位置が適位置です。アウターガイドのフック突出面にハンドルを接続することで、フック突出面が容易に識別できます。

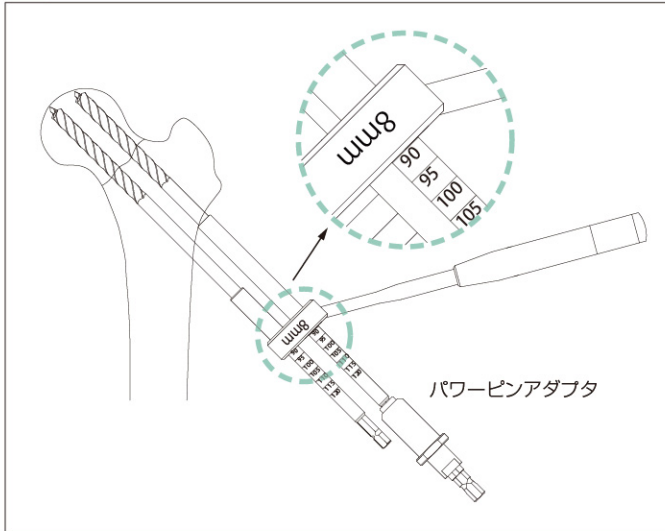
パラレルガイド又はドリルスリーブを介して、インプラントを挿入することも出来ます。

挿入するとき、ハンマー等で打撃しないで下さい。

※詳細な手技手順は添付文書をご確認下さい。

#### 4 近位ドリリング 《その1》

6.7中空ドリル



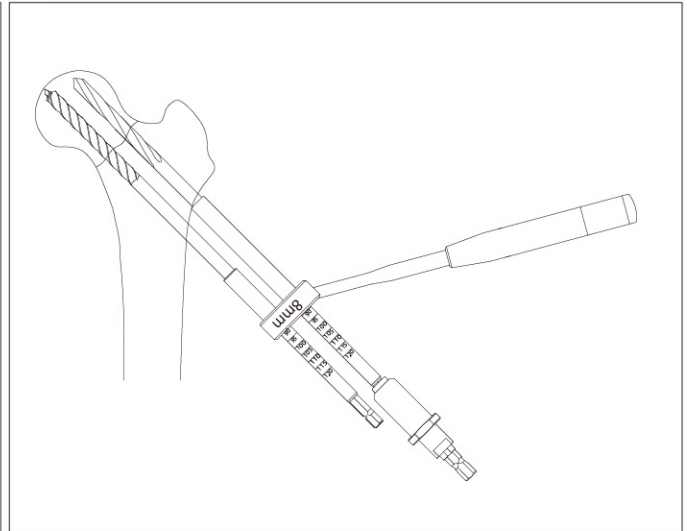
ガイドピンスリーブを取り外し、中空ドリルにて骨頭軟骨下までドリリングし、目盛りを読み取ります。(※1)

パラレルガイド近位側先端が、骨面に接触した状態で計測して下さい。

ガイドピンが骨頭を貫通しないよう、イメージ下で確認しながらドリリングします。

#### 近位ドリリング 《その2》

6.7ドリル



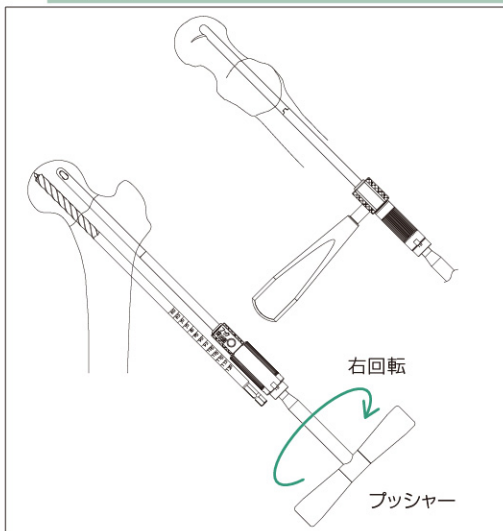
近位は、ガイドピンを刺入せず、ソリッドドリルにてダイレクトにドリリングも可能です。(※1)

パワーピンアダプタを必ず使用して下さい。遠位ドリル後端との干渉を防止します。

※1.中間位置で計測した場合は、長いサイズのインプラントを選択して下さい。

#### 7 フック突出

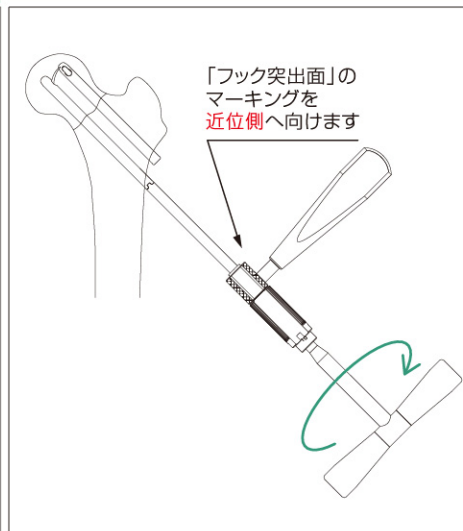
プッシャー



インプラントを適位置まで挿入し、アウターガイド後端部又はハンドルをしっかり把持しながらプッシャーを右に回し、フックを突出させます。プッシャー手元の目盛り「10mm」の位置でフックの突出が終了し、この位置で止まります。

フックの突出状態は、プッシャー手元の目盛りの他、必ずイメージ下で確認して下さい。

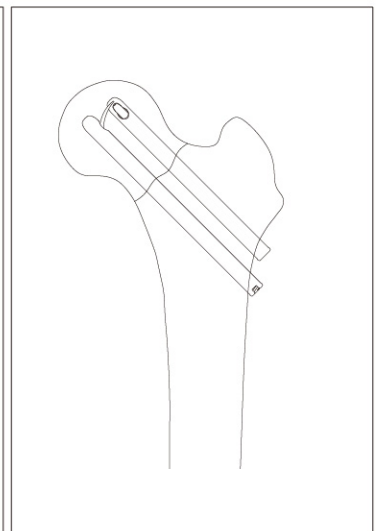
#### 8 遠位インプラント挿入



遠位ドリリング時に読み取った長さのインプラントを選択し、各器具との接続を行います。

フックの突出向きを近位へ向け、インプラントを挿入し、フックを突出させます。

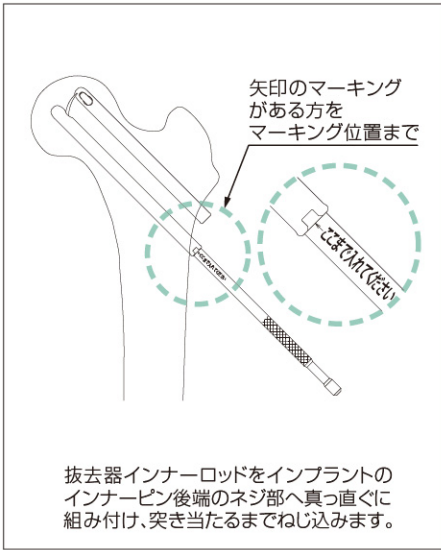
#### インプラント完了



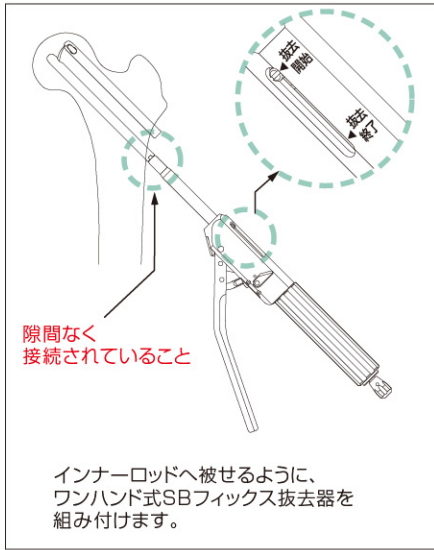
インプラントの状態を正面像及び軸射/側面像で確認し、縫合して手術を終了します。

除去

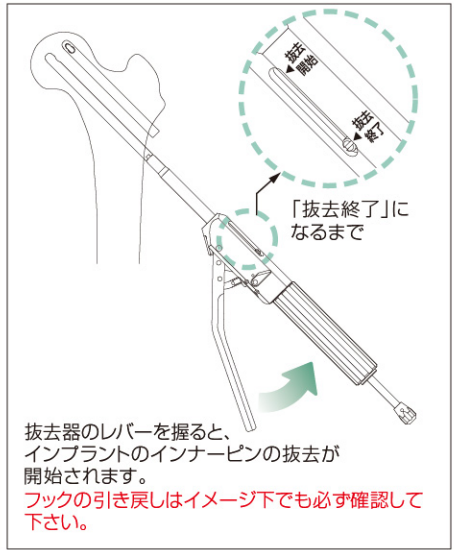
① 除去器インナーロッド組み付け



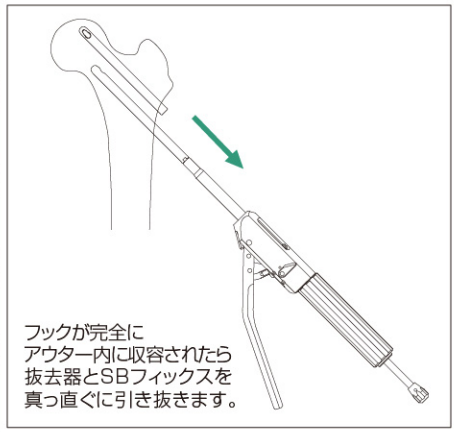
② ワンハンド式SBフィックス除去器



③ フック引き戻し



④ 除去



SBフィックス

外径 φ6.5

フック突出前



フック突出状態



突出  
10mm



| 製品名     | カタログNo.   | 規格    | JANコード        |
|---------|-----------|-------|---------------|
| SBフィックス | H801-0065 | 65mm  | 4580118204317 |
|         | H801-0070 | 70mm  | 4580118204324 |
|         | H801-0075 | 75mm  | 4580118204331 |
|         | H801-0080 | 80mm  | 4580118204348 |
|         | H801-0085 | 85mm  | 4580118204355 |
|         | H801-0090 | 90mm  | 4580118204362 |
|         | H801-0095 | 95mm  | 4580118204379 |
|         | H801-0100 | 100mm | 4580118204386 |
|         | H801-0105 | 105mm | 4580118204393 |
|         | H801-0110 | 110mm | 4580118204409 |
|         | H801-0115 | 115mm | 4580118204416 |

〈インプラント〉

|                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 販売名               | SBフィックス          |
| 医療機器承認番号          | 22200BZX00632000 |
| 医療機器分類            | 高度管理医療機器         |
| 成分                | チタン合金 Ti-6Al-4V  |
| 使用上の注意            | 添付文書参照のこと        |
| <b>滅菌済み 再使用禁止</b> |                  |

〈器械〉

|          |                  |
|----------|------------------|
| 販売名      | SBフィックス用手術器械     |
| 医療機器届出番号 | 20B1X00006H00021 |
| 医療機器分類   | 一般医療機器           |
| 成分       | ステンレス, チタン合金, PF |
| 使用上の注意   | 添付文書参照のこと        |

販売名:骨手術用穿孔器具  
医療機器認証番号:22200BZX00919000

販売元

 株式会社 ホムズ技研 営業部

|      |        |                   |                   |
|------|--------|-------------------|-------------------|
| HOMS | 東京支店   | Tel: 03-5989-0090 | Fax: 03-5989-0091 |
|      | 広島支店   | Tel: 082-543-6180 | Fax: 082-543-6171 |
|      | 仙台営業所  | Tel: 022-716-0160 | Fax: 022-716-0161 |
|      | 名古屋営業所 | Tel: 052-218-4686 | Fax: 052-218-4687 |
|      | 大阪営業所  | Tel: 06-6467-4172 | Fax: 06-6467-4173 |
|      | 福岡営業所  | Tel: 092-432-7270 | Fax: 092-432-7271 |

製造販売元

株式会社 ホムズ技研

許可番号 20B1X00006